1月25日　原発依存大転換のとき学習講演会「内橋克人氏講演感想」(122枚回収)

【感想：順不同・自由記述を抜粋列記】

＊　来場者の多さにも励まされるような心強い思いを抱きました。

＊　私たち一般市民はテレビ・新聞等のマスコミで知ったことが正しい知識だと思っています。ただ、それ以外に知らないことがたくさんあったのだと今日知りました。私たちが賢く物事を見極める目、知識をもっともっと持っていく必要があることを改めて知りました。

＊　反対という思いを持ち続けること、それをあらわすことがやっぱり必要だと感じた。

＊　風力・水力・バイオマス等の電力を選んで買えるという話に驚いた。

＊　国原発は国主導の「国策」ということを改めて認識。

＊　「エネルギーの選択が民主主義であることだ」という言葉が胸にささった。

＊　国の政策が変わらなければ自然エネルギーへの転換は進まないと思います。もっともっと声を上げて国を動かそう！

＊　この国の電力の発電と需要、供給のあり方を現実的にとらえるような、民主的な方式をできる法制を確立することが必須要件であることがわかった。

＊　正しい学習、正しい教育の大切さをあらためて学んだ。

＊　原発安全神話、特に子どもたちへのエネルギー環境教育を聞いて、将来子どもが大人になったとき、原発エネルギーを危険なものと認識するか不安に感じた。太陽光エネルギーなど自然なもので安全なエネルギー方向に政府が動いてくれることを望む。

＊　電力が余っているのにもうかるから原子力に変えていったことを知り、怒りでいっぱい。

＊　原発が停止し、電力が足りないといわれ、各家庭でも節電したり企業も稼働日を調整したりしたはず。しかし、電力は余っているとの話を聞き、私たちが日頃聞いていたこと・努力はなんだったのかと思う。

＊　54 期廃炉まで、講演会、デモ、集会が必要だ。次回は小出裕章さんの講演を期待。

＊　目に見えない放射能のことを考えると原発はなくしていってほしい。子どもが安心安全の中で生活できるよう政府も考えを変えてほしい。

＊　日頃胸につかえている太平洋に六ヶ所村より放射能を海に空に放出し続けられています。どうしたら止められるか悩んでいます。そのため、脱原発を達成しても廃炉のため再処理工場は永遠に稼働されるのでしょうね。

＊　原発は廃止すべき。人間が尊重される社会の実現が必要かと思います。福島のみなさんの思いを忘れずに自分ができることに取り組んでいきたい。

＊　「人間復興」を実現するために、「してやられる」市民にならないよう、未来には何が必要か、自分で真実を懸命に考え少しでも行動しようと思った。「スローデス」を忘れず。

＊　具体的に、どのような活動に参加するのが脱原発・自然エネルギーへの転換に有効なのかを学びたい。